



お茶工場を見学して

生活部 川上礼子

車窓から田植えの終わった水田に青空が映り、新緑の木々がまぶしく見えます。

緑風が心地よい6月11日。松江の中村茶舗へ見学に行きました。創業137年のお茶の老舗。創業者は宇治から松江に行商に来て武家から庶民までお茶をしたしむ松江の文化に感銘し創業したとのこと。

加工工場では日本で初めて発明された電動石臼40基が稼働中。ガラス越しに濃い緑色のお茶が挽かれ、抹茶の加工風景を見学しました。抹茶は新芽の育成期間中に覆いをかぶせ日光をさえぎって育てたものを茶臼で細かく挽いたお茶であり、深くまろやかな甘味、旨味が豊かで奥行のある香りがあるなどお茶に関する知識も教えてもらいました。挽きたての抹茶

一服と干菓子をいただき、茶の湯文化を楽しみました。

ランチはホテルで「buffetスタイル」の食べ放題。お土産は島根県物産観光館、平田の長年地元で愛される「まちの豆腐やさん」だいや村で油揚げ、豆腐を買って帰路につきました。夕食はどの家庭でも豆腐料理だったのでないでしょうか。



神戸川小学校児童による「町探検」

6月12日に、神戸川小学校2年生児童による「町探検」があり、お礼状が届きました。

【お礼状】

先日の2年生の「町探検」では、大変お忙しい中、子どもたちの見学にご協力いただきました。誠にありがとうございました。当日は、コミュニティセンターについて分かりやすい説明や施設の中を案内していただき、充実した見学をすることができました。また、質問に対しても丁寧にお答えいただき厚くお礼申し上げます。おかげで、子どもたちは、たくさんものを見、聞いて、学ぶことができました。本当にありがとうございました。

【児童の感想】

〇たのしいところやおすめのけしきのいい場所はどこですかと聞いたところ「ここは、たのしいところだよ」とセンターの皆さんが教えてくれました。

〇神戸川小学校とはなかがよく



いすかときいたら、いっしょにおさけをのんだり、あたらしいしよくいんの人がくるときなかよくなったりする。神戸川小学校とはなかがよいといひめて知りました。



出雲国 神戸川太鼓40周年記念公演

ふるさとに新しい文化を創ろうと地元の若者たちが結集し、昭和61年（1986年）に神戸川太鼓を結成して、皆様のご指導のおかげで40年を迎えることができました。

我々の活動が、県内外の方々に「和太鼓の魅力」と「神話の国いづも」のPRにつながれば幸いです。

今年11月15日（日曜日）には、出雲市民会館大ホールにおいて「出雲国 神戸川太鼓40周年記念公演」を開催いたします。神戸川太鼓の成長した姿を皆様にお届けいたします。

この間、地元の皆様はもちろん、多くの方々に愛され、支えていただき、微力ながらも和太鼓の魅力と地域の活性化を目指して活動を続けています。



出雲市では、災害時に緊急情報などを聞くことができる280MHz帯防災行政無線戸別受信機(ラジオ型)を1世帯につき1台、無償で貸し出ししています。(ただし、加入料として5,000円(1回限り)の負担が必要です。)

随時、申請を受け付けておりますのでぜひ設置してください。

ご存じですか？

〇〇〇地区に、警戒レベル4、避難指示を発令しました。速やかに避難を開始してください。

防災行政無線

AM+FMラジオ

重さ:約600g

(厚さ:約4cm)



8月行事予定

1日(土)古志夏祭り
 13日(木)文書配布日
 20日(木)健康マージャン
 23日(日)男女ヨガ教室
 27日(木)文書配布日
 31日(月)乳がん検診

ひとひら抄

小さな淡いピンク色の花が道端に咲いていた。



スマホで検索する。ユウゲショウ、名前の「タ化粧」は、午後から夕方にかけて花が開くことや、やわらかな花色が夕暮れの化粧を思わせることに由来するといふ。ほーっとまたひとつ花の名を覚えたと、声に出して言ってみる。心より脳に刻むことで、記憶の質が上がる。と年齢とともに思う。ある人が、慣れぬ仕事をすると、教えられたことを常に復唱している姿をみて、なるほどと思った事があった。身近な人や場所から得るものは、まだまだある。

(悦)